

**2**

(1) 次の  $a, b$  の組に対し、その最大公約数  $d = \gcd(a, b)$  を Euclid の互除法で求めよ。

また、拡張互除法により  $ax + by = d$  となる整数  $x, y$  の組を見付けよ。

(a)  $(a, b) = (156, 91)$

$i$	$r_{i-2} = r_{i-1} \times q_i + r_i$	$q_i$	$r_i$	$x_i$	$y_i$	$ax_i + by_i$
-1	---	-	156	1	0	
0	---	-	91	0	1	
1	$156 = 91 \times +$					
2	$91 = \times +$					
3	$= \times +$					

(b)  $(a, b) = (34, 21)$

$i$	$r_{i-2} = r_{i-1} \times q_i + r_i$	$q_i$	$r_i$	$x_i$	$y_i$	$ax_i + by_i$
-1	---	-	34	1	0	
0	---	-	21	0	1	
1	$34 = 21 \times +$					
2	$21 = \times +$					
3	$= \times +$					

(2)  $a, b \in \mathbb{Z}$  に対し、連立合同式

$$(*) \quad \begin{cases} x \equiv a \pmod{27} \\ x \equiv b \pmod{19} \end{cases}$$

の解  $x$  を一つ求めたい。

(a) Euclid の互除法により  $\gcd(27, 19) = 1$  であることを示し、 $27s + 19t = 1$  となる整数  $s, t$  の組を見付けよ。

(b) 上の解を観察して、

(i) 連立合同式  $\begin{cases} x \equiv 1 \pmod{27} \\ x \equiv 0 \pmod{19} \end{cases}$  の解  $x$  を一つ見出せ。

(ii) 連立合同式  $\begin{cases} x \equiv 0 \pmod{27} \\ x \equiv 1 \pmod{19} \end{cases}$  の解  $x$  を一つ見出せ。

(c)  $a, b \in \mathbb{Z}$  に対し、連立合同式 (\*) の解  $x$  を(一つ)求めよ。